

学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）

活用のしおり

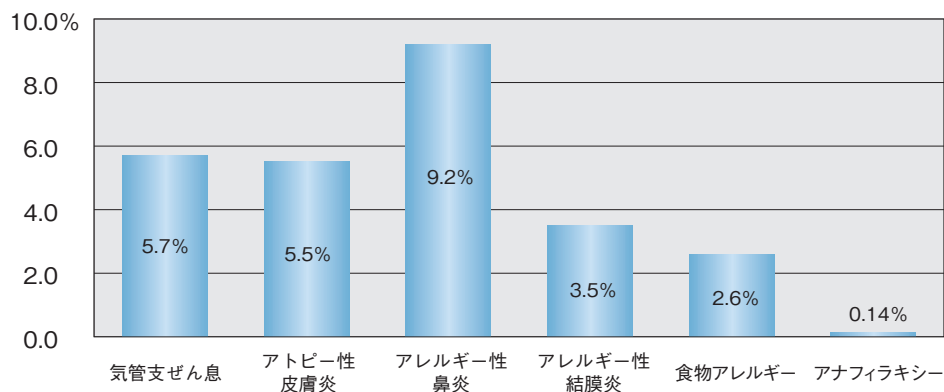
～保護者用～

アレルギー疾患のお子さんをおもちの保護者の皆様へ

文部科学省の調査により、学校には、アレルギー疾患のお子さんが多く通われていることが明らかになりました。アレルギー疾患のあるお子さんの学校生活をより安心して安全なものとするため、学校は、お子さんのアレルギー疾患について詳しい情報を把握する必要があります。

学校生活において特に配慮や管理が必要なお子さんにつきましては、「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」を学校に提出いただきますよう、よろしくをお願いします。

児童生徒全体のアレルギー疾患有病率



「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」は以下の手順でご活用下さい。

- ①お子さんの病気（アレルギー疾患）に関して、学校での配慮・管理が必要であることを学校に申告してください。
- ②学校から「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」を受け取ってください。
- ③各疾患ごとに主治医の先生に「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」の記載をお願いしてください。
- ④記載してもらった「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」を学校に提出してください。
- ⑤「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」を基に、学校と保護者の方とでお子さんの学校生活における配慮や管理について相談します。（この際、必要に応じさらに詳しい情報の提出をお願いすることがあります。）
- ⑥病状は変化することがあります。継続して管理・指導が必要な場合は、原則として内容が同じでも毎年新しい「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」を提出してください。

「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」は以下のような構成になっています。

名前		男・女	平成	年	月	日生（歳）	学校	年	組	提出日	平成	年	月	日
気管支ぜん息（あり・なし） アレルギー疾患用	病型・治療 A. 重症度分類（発作型） 1. 重症度 2. 重症度 3. 重症度 D. 急性発作時の対応（自由記載）	学校生活上の留意点 A. 運動（体育・部活動等） 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 不参加 B. 動物との接触やホコリ等の舞う環境での活動 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊や学校外活動 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）			学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	緊急時の対応 1. 緊急連絡先 2. 緊急連絡先 3. 緊急連絡先	医師名 医師名 医師名							
	B-1. 気管支ぜん息（吸入薬） 1. ステロイド吸入薬 2. 長時間作用型吸入ステロイド薬 3. 吸入型アレルギー薬 4. その他 B-2. 気管支ぜん息（吸入薬） 1. ステロイド吸入薬 2. 長時間作用型吸入ステロイド薬 3. ステロイド吸入薬・吸入薬 4. その他	病型・治療 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	緊急時の対応 1. 緊急連絡先 2. 緊急連絡先 3. 緊急連絡先	医師名 医師名 医師名									
アトピー性皮膚炎（あり・なし） アレルギー疾患用	病型・治療 A. 重症度分類（慢性発疹型） 1. 重症度 2. 重症度 3. 重症度 B. 重症度 1. 重症度 2. 重症度 3. 重症度 C. その他	学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）			学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	緊急時の対応 1. 緊急連絡先 2. 緊急連絡先 3. 緊急連絡先	医師名 医師名 医師名							
	B-1. 外用する内服薬 1. ステロイド外用薬 2. ステロイド外用薬 3. ステロイド外用薬 4. その他 B-2. 外用する内服薬 1. ステロイド外用薬 2. ステロイド外用薬 3. ステロイド外用薬 4. その他	病型・治療 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	緊急時の対応 1. 緊急連絡先 2. 緊急連絡先 3. 緊急連絡先	医師名 医師名 医師名									
アレルギー性鼻炎（あり・なし） アレルギー疾患用	病型・治療 A. 病型 1. 慢性アレルギー性鼻炎 2. 慢性アレルギー性鼻炎（花粉症） 3. 慢性アレルギー性鼻炎 4. アレルギー性鼻炎 5. その他 B. 治療 1. ステロイド点眼薬 2. ステロイド点眼薬 3. ステロイド点眼薬 4. その他	学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）			学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	緊急時の対応 1. 緊急連絡先 2. 緊急連絡先 3. 緊急連絡先	医師名 医師名 医師名							
	B-1. 外用する内服薬 1. ステロイド点眼薬 2. ステロイド点眼薬 3. ステロイド点眼薬 4. その他 B-2. 外用する内服薬 1. ステロイド点眼薬 2. ステロイド点眼薬 3. ステロイド点眼薬 4. その他	病型・治療 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	緊急時の対応 1. 緊急連絡先 2. 緊急連絡先 3. 緊急連絡先	医師名 医師名 医師名									

● 主なアレルギー疾患を表裏一枚で記載できるようになっています。

- 表** 気管支ぜん息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性結膜炎
- 裏** 食物アレルギー・アナフィラキシー、アレルギー性鼻炎

気管支ぜん息、食物アレルギー・アナフィラキシーが「あり」の場合、保護者の緊急連絡先を記入してください。

● 主治医の先生には、お子さんの疾患についての情報と、学校生活上の指示を記載していただきます。

「病型・治療」欄

アレルギー疾患の原因や症状、服用中の薬など、お子さんの疾患の状況が記載されます。

「学校生活上の留意点」欄

学校生活における管理・配慮の必要性が記載されます。

緊急時の対応などのため、「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」に記載された情報を、学校の教職員全員で共有する必要があります。同意していただける場合は「1. はい」、同意しない場合は「2. いいえ」に○をつけ、どちらの場合も保護者の署名をしてください。

名前		男・女	平成	年	月	日生（歳）	学校	年	組	提出日	平成	年	月	日
食物アレルギー（あり・なし） アレルギー疾患用	病型・治療 A. 重症度分類（食物アレルギー-重なりを含むのみ記載） 1. 重症度 2. 重症度 3. 重症度 B. アナフィラキシー（アナフィラキシー-重なりを含むのみ記載） 1. 重症度 2. 重症度 3. 重症度 C. その他 1. 重症度 2. 重症度 3. 重症度 D. その他	学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）			学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	緊急時の対応 1. 緊急連絡先 2. 緊急連絡先 3. 緊急連絡先	医師名 医師名 医師名							
	B-1. 食物アレルギー（食物アレルギー-重なりを含むのみ記載） 1. ステロイド吸入薬 2. ステロイド吸入薬 3. ステロイド吸入薬 4. その他 B-2. 食物アレルギー（食物アレルギー-重なりを含むのみ記載） 1. ステロイド吸入薬 2. ステロイド吸入薬 3. ステロイド吸入薬 4. その他	病型・治療 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	緊急時の対応 1. 緊急連絡先 2. 緊急連絡先 3. 緊急連絡先	医師名 医師名 医師名									
アレルギー性鼻炎（あり・なし） アレルギー疾患用	病型・治療 A. 病型 1. 慢性アレルギー性鼻炎 2. 慢性アレルギー性鼻炎（花粉症） 3. 慢性アレルギー性鼻炎 4. アレルギー性鼻炎 5. その他 B. 治療 1. ステロイド点眼薬 2. ステロイド点眼薬 3. ステロイド点眼薬 4. その他	学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）			学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	緊急時の対応 1. 緊急連絡先 2. 緊急連絡先 3. 緊急連絡先	医師名 医師名 医師名							
	B-1. 外用する内服薬 1. ステロイド点眼薬 2. ステロイド点眼薬 3. ステロイド点眼薬 4. その他 B-2. 外用する内服薬 1. ステロイド点眼薬 2. ステロイド点眼薬 3. ステロイド点眼薬 4. その他	病型・治療 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	学校生活上の留意点 A. アレルゲン 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. アレルゲンの除去 B. 動物との接触 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 C. 宿泊 1. 不参加 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載）	緊急時の対応 1. 緊急連絡先 2. 緊急連絡先 3. 緊急連絡先	医師名 医師名 医師名									

※(財)日本学校保健会が運営している「学校保健」(<http://www.gakkohoken.jp>)から、「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」をダウンロードすることができます。

表
学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）

(財)日本学校保健会作成

名前 _____ 男・女 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生（ _____ 歳） _____ 学校 _____ 年 _____ 組 提出日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

病型・治療	学校生活上の留意点		緊急時連絡先
	病型・治療	学校生活上の留意点	
気管支ぜん息（あり・なし） A. 重症度分類（発作型） 1. 間欠型 2. 軽症持続型 3. 中等症持続型 4. 重症持続型 B-1. 長期管理薬（吸入薬） 1. ステロイド吸入薬 2. 長時間作用性吸入ベータ刺激薬 3. 吸入抗アレルギー薬（「インタール®」） 4. その他（ _____ ） B-2. 長期管理薬（内服薬・貼付薬） 1. テオフィリン徐放製剤 2. ロイコトリエン受容体拮抗薬 3. ベータ刺激内服薬・貼付薬 4. その他（ _____ ）	C. 急性発作治療薬 1. ベータ刺激薬吸入 2. ベータ刺激薬内服 D. 急性発作時の対応（自由記載） _____	A. 運動（体育・部活動等） 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 3. 強い運動は不可 B. 動物との接触やホコリ等の舞う環境での活動 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 動物名（ _____ ） C. 宿泊を伴う校外活動 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項（自由記載） _____	★保護者 電話： _____ ★連絡医療機関 医療機関名： _____ 電話： _____ 記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 医師名 _____ 医療機関名 _____
アトピー性皮膚炎（あり・なし） A. 重症度のめやす（厚生労働科学研究班） 1. 軽症：面積に関わらず、軽度の皮疹のみみられる。 2. 中等症：強い炎症を伴う皮疹が体表面積の10%未満にみられる。 3. 重症：強い炎症を伴う皮疹が体表面積の10%以上、30%未満にみられる。 4. 最重症：強い炎症を伴う皮疹が体表面積の30%以上にみられる。 <small>*軽度の皮疹：軽度の紅斑、乾燥、落屑主体の病変 *強い炎症を伴う皮疹：紅斑、丘疹、びらん、浸潤、苔癬化などを伴う病変</small> B-1. 常用する外用薬 1. ステロイド軟膏 2. タクロリムス軟膏（「プロトピック®」） 3. 保湿剤 4. その他（ _____ ） B-2. 常用する内服薬 1. 抗ヒスタミン薬 2. その他（ _____ ） C. 食物アレルギーの合併 1. あり 2. なし	A. プール指導及び長時間の紫外線下での活動 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 B. 動物との接触 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 動物名（ _____ ） C. 発汗後 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定 3. （学校施設で可能な場合） 夏季シャワー浴 D. その他の配慮・管理事項（自由記載） _____	記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 医師名 _____ 医療機関名 _____	
アレルギー性結膜炎（あり・なし） A. 病型 1. 通年性アレルギー性結膜炎 2. 季節性アレルギー性結膜炎（花粉症） 3. 春季カタル 4. アトピー性角結膜炎 5. その他（ _____ ） B. 治療 1. 抗アレルギー点眼薬 2. ステロイド点眼薬 3. 免疫抑制点眼薬 4. その他（ _____ ）	A. プール指導 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 3. プールへの入水不可 B. 屋外活動 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 C. その他の配慮・管理事項（自由記載） _____	記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 医師名 _____ 医療機関名 _____	

名前 _____ 男・女 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日生（ ____ 歳） _____ 学校 ____ 年 ____ 組 提出日 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

病型・治療		学校生活上の留意点		★保護者 電話： _____	
アナフィラキシー（あり・なし） 食物アレルギー（あり・なし）	A. 食物アレルギー病型（食物アレルギーありの場合のみ記載） 1. 即時型 2. 口腔アレルギー症候群 3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー	A. 給食 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定			★連絡医療機関 医療機関名： _____ 電話： _____
	B. アナフィラキシー病型（アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載） 1. 食物（原因 _____） 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 3. 運動誘発アナフィラキシー 4. 昆虫 5. 医薬品 6. その他（ _____ ）	B. 食物・食材を扱う授業・活動 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定			
	C. 原因食物・診断根拠 該当する食品の番号に○をし、かつ〈 〉内に診断根拠を記載 1. 鶏卵 〈 〉 2. 牛乳・乳製品 〈 〉 3. 小麦 〈 〉 4. ソバ 〈 〉 5. ピーナッツ 〈 〉 6. 種実類・木の実類 〈 〉 〈 〉 7. 甲殻類（エビ・カニ） 〈 〉 8. 果物類 〈 〉 〈 〉 9. 魚類 〈 〉 〈 〉 10. 肉類 〈 〉 〈 〉 11. その他1 〈 〉 〈 〉 12. その他2 〈 〉 〈 〉	C. 運動（体育・部活動等） 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定			
	D. 緊急時に備えた処方薬 1. 内服薬（抗ヒスタミン薬、ステロイド薬） 2. アドレナリン自己注射薬（「エピベン®」） 3. その他（ _____ ）	D. 宿泊を伴う校外活動 1. 配慮不要 2. 食事やイベントの際に配慮が必要			
E. その他の配慮・管理事項（自由記載）		E. その他の配慮・管理事項（自由記載）		記載日 _____ 年 ____ 月 ____ 日	
アレルギー性鼻炎（あり・なし）	病型・治療		学校生活上の留意点		記載日 _____ 年 ____ 月 ____ 日
	A. 病型 1. 通年性アレルギー性鼻炎 2. 季節性アレルギー性鼻炎（花粉症） 主な症状の時期； 春、夏、秋、冬		A. 屋外活動 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定		医師名 _____ ⑤
	B. 治療 1. 抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬（内服） 2. 鼻噴霧用ステロイド薬 3. その他（ _____ ）		B. その他の配慮・管理事項（自由記載）		医療機関名 _____

【診断根拠】該当するもの全てを〈 〉内に記載
 ① 明らかな症状の既往
 ② 食物負荷試験陽性
 ③ IgE抗体等検査結果陽性

見本

●学校における日常の取り組み及び緊急時の対応に活用するため、本表に記載された内容を教職員全員で共有することに同意しますか。

1. 同意する
2. 同意しない

保護者署名： _____